

法政大学 教育開発支援機構報

CONTENTS

- ① 教育開発支援機構
- ② FD推進センター
- ③ 市ヶ谷リベラルアーツセンター
- ④ 学習環境支援センター
- ⑤ 教育の質向上と学びの支援を目指して
- ⑥ お知らせ・イベント案内

法政大学の教育改革への取り組みと 教育開発支援機構の設置



教育開発支援機構長

常務理事 浜村 彰

急激な少子化の進行にともない大学は、誰でも入学できるユニバーサル段階を迎えたといわれ、大学間の競争が激化する中で学生や保護者からの教育の質に対する視線はこれまで以上に厳しくなっています。また、グローバル化する知識基盤社会にあって、学生の国際的流動性の拡大にともない、大学教育の中身が国際的な評価にさらされています。

法政大学は、これまで「自由と進歩」の建学の精神に基づき、自立型人材の育成などを教育理念に掲げながら、学部の新増設などの教学改革に先進的に取り組んできました。今後は、本学教育の中核を担う15学部が、その掲げる教育理念に基づくディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに従い、授与する学位に相応しい教育成果を学生に修得させているのかという観点から、学部教育の内容の検証を行い、その一層の充実化をはかることが求められています。

そうした状況の中で、昨年度、法政大学は、各学部の進めている教育改革への情報提供と学士課程教育の再構築の取り組みをサポートする全学的な企画・調整・支援組織として、教育開発支援機構を設置しました。

本機構は、教員による授業改善の組織的取り組みをサポートするFD推進センター、市ヶ谷キャンパスの教養教育全体の基本理念・目的や共通カリキュラムの開発支援を行う市ヶ谷リベラルアーツセンター、単位の実質化という観点から学生の主体的学習を支援する学習環境支援センターという3つのセンターを設置し、学部横断的な共通カリキュラムの開発支援を中軸に、教員の授業改善と学生による主体的な学習を全学的に支援することを目指しています。学士課程教育の充実化は、第一義的には各学部がその責任を負っていますが、学部の専門を超えた幅広い学びのあり方や具体的成果につながるより効果的な授業の改善、学生の主体的な学習支援などは、学部の垣根を越えて全学的に取り組まなければならない課題です。本機構は、そうした使命を果たすための全学的組織として設置され、早速各種のプロジェクトチームを発足させて、様々な具体的課題に取り組んでいます。

教育開発支援機構

FD推進
センター

市ヶ谷
リベラルアーツ
センター

学習環境
支援センター

新たなステージへと踏み出した FD推進センター

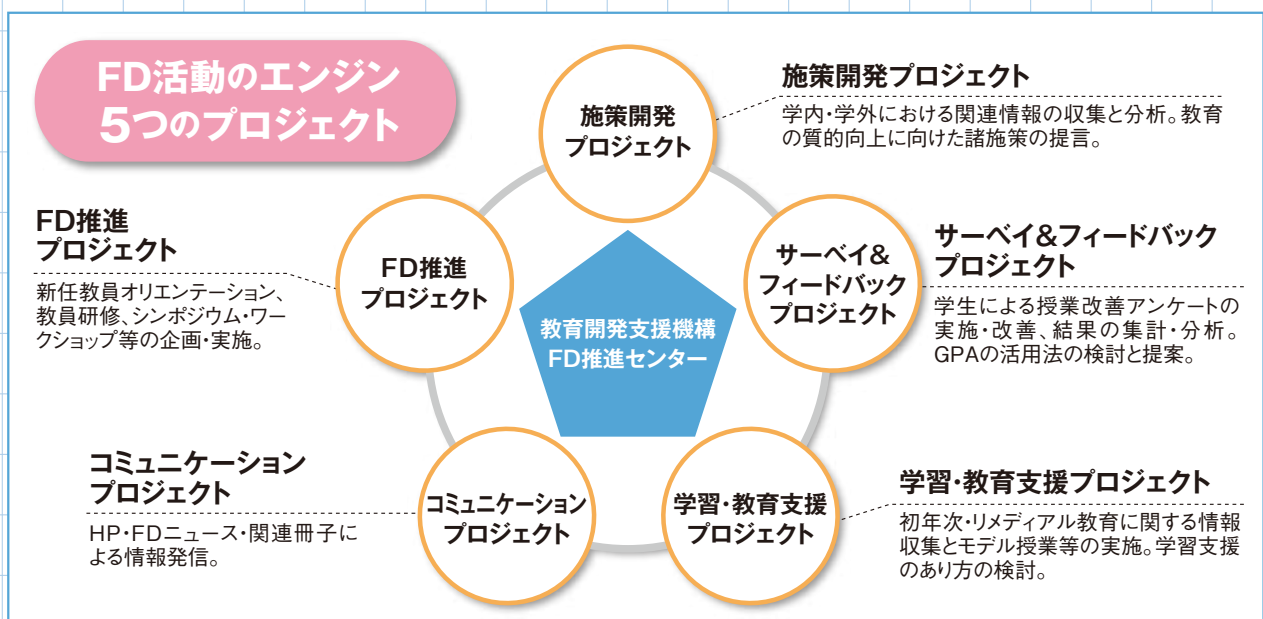


FD推進センター長
理工学部教授 川上 忠重

教育開発支援機構FD推進センターでは、「『自由と進歩』の建学の精神に基づく教育理念と教育目標を達成するためになされる、教育及び学びの質の向上を目的とした教員・職員・学生による組織的・継続的な取組みを、FDと定義する」としている。FD推進センターの設置の目的は、教育の質的向上に向けた全学的な教育支援施策の企画・開発、FD活動の支援を行うもので、2003年11月に発足した「法政大学全学FD推進委員会」を足掛かりとし、2005年4月に発足し、今年度で6年目を迎えた。

現在は、5プロジェクト体制(施策開発、FD推進、サーベイ&フィードバック、コミュニケーション、学習・教育支援、2010年4月現在、リーダー5名(教員)、メンバー27名(教員・職員))とアドバイザー・ボード(センターの事業に関わる助言・提案及びチェックを行うとともに、学部教授会等との連絡調整を行う、34名の教員・職員で構成)で運営され、単位の実質化で求められる学習の促進方法などについて各教学単位で話し合うためのツールとして「振り返りシート」の提供や、本学のFD活動のさらなる推進のため各種テーマのシンポジウム及びフォーラム開催、「授業改善」のための「学生による授業改善アンケート」、「FD学生の声コンクール」の実施、新入生向け「学習支援ハンドブック」や「法政大学教育研究」等も発刊している。

FD推進センターは、2009年11月に設置された教育開発支援機構内の3センター(FD推進センター、市ヶ谷リベラルアーツセンター、学習環境支援センター)の1つとしての役割を担うべく新たなステージへの「一歩」を既に踏み出した。教育開発支援機構の設置目的である「学部教育の質保証や学士課程教育の充実化という目的や機能では同一方向を目指しつつも、学内に分散していてこれらの目的や機能が有機的に連携してこなかった既存組織や事務局の分掌を有機的に統合し、全学的なベクトルを合わせるために企画・調整・支援する」目的達成のための「責任」「役割」は非常に大きい。他センターとの連携も含め、教育開発支援機構として、教育の質的向上に向けた全学的な教育支援施策の企画・開発、より実効的なFDの推進と各学部等と密接した形でのFD活動の支援を行っていく所存である。



教養教育の充実に向けて 市ヶ谷リベラルアーツセンターを設置



市ヶ谷リベラルアーツセンター長
法学部教授 太田 九二

法政大学では、教養部を発展的に解消した後、市ヶ谷地区における各学部の教養教育は協議会を設けて運営されてきました。この度、専門教育と教養教育のより有機的な結合あるいは相互補完的な教育体制の構築をより一層実現させるために、市ヶ谷リベラルアーツセンターが教育開発支援機構のもとに設立されました。このセンターでは、従来の教養教育の運営実施に加えて、市ヶ谷地区の学部で行われている教養教育のあり方を専門教育科目のカリキュラムとの関連を図りながら検討し、教養教育に関する共通カリキュラムの開発支援を行うことにより、学士課程教育の充実化を図ることを目的としています。

21世紀は社会のグローバル化がさらに進むといわれるなかで、人それぞれは、自立するとともに他と協調しながら、人生と社会を切り拓いていく力が必要とされています。このような社会の中で、大学における教養教育は伝統的な学問体系に則った知識伝達型の教育や、専門教育への単なる入門教育だけではなく、系統的かつ幅広い知識の獲得や複雑な問題を解き明かし、理解する力の涵養など多様かつ深みのある教育が求められています。

市ヶ谷リベラルアーツセンターは、これからの流動性の高い社会のなかで、自立的で人間力豊かな人材の養成に必要な教養教育のあり方を検討し、とりわけ、自ら主体的に考えて問題を発見し解決していく能力、論理的思考力、クリティカルシンキング、コミュニケーション能力、常に新しい経験・知識を身につけようとする力などを備えた人材の育成に必要な教養教育のあり方やカリキュラムの体系を開発することにより、それぞれの多様な生き方を認め合い、生涯にわたって自らを高めながら生きることを可能とする人格形成の手助けが出来れば幸いです。

市ヶ谷リベラルアーツセンター プロジェクト

教養教育の充実に向けて、
各種プロジェクトを立ち上げ、検討を進めます。

教養教育の在り方

自校教育

キャリア教育

ICT教育

初年次教育

「自校教育」プロジェクト

「よき師よき友が集う」法政大学を学ぶ!

1880年に設立された本学の歴史や地域の環境を日本の近現代の政治史・文化史に照らして学ぶ科目の設置を、2011年度からの開講に向けて準備を進めています。

市ヶ谷リベラルアーツセンター

センター長・副センター長

プロジェクト

運営委員会

構成 市ヶ谷6学部の教授会
主任、各分科会の長

機能 市ヶ谷6学部での教養
教育の在り方・カリキュ
ラム編成等を審議し、
各学部へ提案する。

人文科学
分科会

社会科学
分科会

自然科学
分科会

情報学
分科会

英語
分科会

諸語
分科会

保健体育
分科会

学習し易い環境作りを目指す 学習環境支援センターの取り組み



学習環境支援センター長
人間環境学部教授 根崎 光男

今や、わたしたちを取り巻く現代社会は、多様で複雑な課題に直面しています。この中において、大学が21世紀の国際社会を担う自立した人材を幅広く育成することは、個人の幸福と社会全体の発展それぞれの観点からきわめて重要であり、公共的使命といえます。このためには、国際的通用性を備えた質の高い教育を行うことが必要です。

法政大学は、これら社会の変化に対応した学習環境をより充実させるために学習環境支援センターを設置しました。当センターは、単位制度の実質化の観点から、教育・学習環境の整備と学生の主体的学習の支援のための全学的な施策の企画・提案・調整を行うことを目的とし、学生の自習環境を保障し、さらに拡充するための組織です。

さて、わが国の大学教育システムとしての単位制度は、授業時間のみの学習で完結しているのではなく、授業時間外の学習をも含めて考えられていますが、そのことが十分に理解されているとはいえない状況にあります。このため、大学には学生へのきめ細かな履修指導や学習支援が求められています。そうした要請に対応するための組織の一つが、学習環境支援センターです。

学生のみなさんは、学内に学習を支援・推進するための施設として図書館があることはご存知だと思いますが、情報カフェテリアやeラウンジ、スタディールームを利用したことがあるでしょうか。これらの施設は、個人やグループでの学習に有効に活用できる場所です。たとえば、学生が授業時間以外でパソコンを借りたい場合、手続きを済ませれば、その利用状況に応じて情報カフェテリアやeラウンジでの利用が可能です。また学習するためのスペースがほしい場合、個人やグループでの利用状況によって、図書館の閲覧室や共同読書室のほか、空いていれば利用可能なスタディールームや何にでも自由に利用できるオープンスペースもあります。

学習環境支援センターは、学生のみなさんに学内にある施設や機器を有効に活用していただき、それぞれの学習や研究が進展することを支援していきます。そのためには、教職員のみならず、学生のみなさんからもさまざまなご意見をいただきながら、よりよい学習環境の整備に向かってその実現に取り組んでまいります。

「授業以外で学習したいときは…」

大学には図書館をはじめとして多種多様な学習施設があります。大学での学習活動の第一歩は、これらの施設を知ることから始まります。「グループで勉強するスペースが欲しい」「パソコンを使いたい」など、目的別に利用できる学習施設を紹介するリーフレットを、今年の新入生に配布しました(市ヶ谷キャンパス版のみ)。学習環境支援センターでは、これからも学習施設の有効利用を促進するための取り組みを進めていきます。



教育の質向上と学びの支援を目指して

教育開発支援機構と3センターのWEBサイト公開

教育開発支援機構と市ヶ谷リベラルアーツセンター、学習環境支援センターのWEBサイトが公開されました。これにあわせて、FD推進センターのWEBサイトもリニューアルしました。

当サイトでは、教育開発支援機構のご紹介のほか、3センターの新着情報もご案内しています。ぜひ一度ご覧ください。

教育開発支援機構

<http://www.hosei.ac.jp/kyoiku/>

FD推進センター

<http://www.hosei.ac.jp/kyoiku/fd/>

市ヶ谷リベラルアーツセンター

<http://www.hosei.ac.jp/kyoiku/ilac/>

学習環境支援センター

<http://www.hosei.ac.jp/kyoiku/gakushi/>

FD推進センター

*Making the most of
your university education!*

新入生に「学習支援ハンドブック2010」を配付

法政大学での「学び」を充実したものにしておくと、新入生に「学習支援ハンドブック2010」が配付されました。

「時間割をつくる」「ノートの取り方」「信頼できる情報を集める～図書館で・インターネットで～」など大学での学習をスタートさせる新入生の知りたい情報が満載されています。

また、「私が選んだ、ちょっとイイ授業」をテーマに募集した「FD学生の声コンクール」で入賞した散文、韻文、漫画も収録されています。



市ヶ谷リベラルアーツセンター

授業科目紹介

「キャリアデザイン入門」

(担当：藤村博之教授)

この授業では、「大学で勉強するとはどういうことなのか」、「自分自身の人生の中で大学での4年間をどう位置づけるのか」、「卒業後に働くことを考えたとき何を大学時代に学んでおけばいいのか」について考えます。

授業は担当教員の講義だけでなく、ビジネスの第一線で働いている先輩をお招きしてお話を聴く機会を設けます。

また、教材として映像も積極的に使い、テーマによって小グループをその場で作り、グループディスカッションも行います。

ただ座って聴いているだけの講義ではなく、学生と一緒に有意義な講義を創りあげていきたいと思いをもちます。



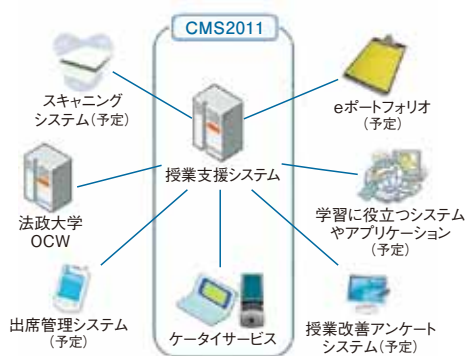
学習環境支援センター

2011年度から生まれ変わる 授業支援システム

授業資料のダウンロードやWebでのレポート提出など、授業支援ツールとして利用されている授業支援システムが2011年4月からリニューアルされます。

新しい授業支援システム「CMS2011」では、現在の授業支援システムで利用されている機能に加えて、レポート課題が出題された時や新しい教材が提示された時に携帯電話にお知らせを配信するなどのサービスも提供されます。

また、Webシラバス閲覧システムも2011年4月からリニューアルされます。



お知らせ・イベント案内

FD推進センター

- ・第4回 FDワークショップ「高度化情報コミュニケーションによる学習・教育支援」
7月3日(土)13:00~15:15 (小金井キャンパス 西館B1階 マルチメディアホール)
- ・第5回 FDフォーラム (サマーフェスタ)
「HART*コミュニティー 大学での[授業]活性化とは!!」
8月27日(金)13:00~16:20 (市ヶ谷キャンパス 外濠校舎3階 S305教室)
- ・第8回 FDシンポジウム「教員・職員の職務から見た教育改善—新たな展開を目指して—」
10月9日(土)13:00~16:30 (市ヶ谷キャンパス 外濠校舎5階 S505教室)
- ・大学評価室との連携シンポジウム「グローバル化時代における私立大学の質保証」
10月23日(土)13:00~18:00 (市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー26階 スカイホール)



〈その他のイベント開催予定〉

- 2010年12月 第6回 FDフォーラム
- 2011年 3月 学生FDサミット2011春
- 2011年 3月 第7回 FDフォーラム

お問合せ先：FD推進センター
(fd-jimu@hosei.ac.jp)

市ヶ谷リベラルアーツセンター

フランス語教育を紹介するモバイル・サイトがスタート

2010年7月1日より、本学のフランス語教育の内容について情報発信するモバイル・サイト「クリエ・フランセ」がスタートしました。本サイトは、国際文化学部・大中一彌准教授が中心となり、FD推進センターの教育改善プロジェクトの一環として構築されているものです。サイトでは、フランス語を法政大学や海外協定校で学んでいる学生や、フランス語圏から法政大学にきている交換留学生在が執筆・制作するエッセイや映像作品に触れることができます。また、自校教育の重要性に鑑み、東京仏学校の歴史から説き起こす「法政大学でフランス語を学ぶ」や履修システムの紹介など、主に高校生・大学生を対象にしたコンテンツが掲載されています。フランス語教育の「見える化」の推進を通じて、学部やキャンパスを超えたアカデミック・コミュニティの形成を進めていきます。



学習環境支援センター

後期・学生アシスタントを募集



2010年度後期の学生アシスタントを募集します。申込期間は7月5日~20日です。希望する方は学習環境支援センターのWEBサイトからお申し込みください。2010年度前期の学生アシスタントの方も改めて申し込みが必要です。また、初めて学生アシスタントに申し込む方は教職員の推薦が必要です。意欲ある学生の皆さんのお申し込みをお待ちしております。

<http://www.hosei.ac.jp/kyoiku/gakushi/>

法政大学 教育開発支援機構 (事務局：学務部教育支援課)

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 TEL:03-3264-4279 FAX:03-3264-9876

- FD推進センター (事務局：FD担当)
- 市ヶ谷リベラルアーツセンター (事務局：市ヶ谷リベラルアーツ担当)
- 学習環境支援センター (事務局：学習環境支援担当)